

私は最近、ボーッとして人の話を聴いていないことが多い。もちろんわざとではないのだけれど、案の定、後で困ることになる。そして、聴くことの大切さを痛感している。

「音や声が自然と耳に入る」という意味の「聞く」と比べ、「聴く」は「理解しよう」と自ら進んで耳を傾ける」という意味だ。

小学生の頃、何の授業でどんな先生が話していたかも覚えていないけれど、その先生が黒板に「聴」と書いて、「耳と目と心で聴く」

と教えてくれたことがあった。まだ今より幼くて、人の話を素直に受け入れていた私は、この話を聴いて「なるほどなあ。素敵な漢字だな」と感心した。

相手の話をしっかりと聴けることは人付き合い合いや仕事では必要なことだし、役に立つ。これから、自分のためにも「耳と目と心で聴く」ことを実践していきたいと思った。

中学校専用原稿用紙